



平成27年7月6日

報道機関 各位

東北大学災害科学国際研究所

東北大学災害科学国際研究所 「平成26年度特定プロジェクト研究成果報告会」 開催のお知らせ

東北大学災害科学国際研究所では、「特定プロジェクト研究」として、自然災害科学に関する世界最先端の研究を推進しています。この度「平成26年度特定プロジェクト研究成果報告会」と題し、昨年度までに実施された「特定プロジェクト研究」の研究成果の報告会を下記の通り開催いたします。

本報告会は、学内外・一般の方々と最新の知見を広く共有し、研究成果の社会への活用の増進、さらには研究の連携・融合を図ることを目的としています。当日は12件の口頭発表、87件のポスター発表を行い、各研究者より最新の研究のご説明をさせていただきます。

つきましては、本報告会を市民の皆様へ幅広くご周知いただくとともに、当日はぜひご取材の上、紙面・番組等でご紹介していただきますようお願いいたします。なお、ご取材にあたって事前のご連絡は不要です。

記

日時：2015年7月12日（日）9:00～17:00

会場：東北大学青葉山新キャンパス 災害科学国際研究所棟（別紙参照）

申込：不要（どなたでもご参加いただけます。）

●プログラム

- | | |
|-------------|---|
| 8:30 | 開場 |
| 9:00－9:10 | 開会の挨拶（災害科学国際研究所 所長・今村文彦） |
| 9:10－11:50 | 口頭発表（午前の部6件） |
| 11:50－12:50 | 昼食休憩 |
| 12:50－14:00 | ポスターセッション・コアタイム（70分, 87件）
※発表者がポスターの前に立ってご説明します。 |
| 14:00－16:40 | 口頭発表（午後の部, 6件） |

16:40－17:00 閉会の挨拶（災害科学国際研究所 副所長・奥村誠）

※常設：ポスター

プログラムの詳細は別掲資料をご参照ください。また、インターネットにも同様のものを掲載しています。（URL <http://irides.tohoku.ac.jp/event/irides-forum2015/20150712.html>）

■お問い合わせ先

東北大学災害科学国際研究所
研究企画委員会 金曜フォーラム WG
担当：佐藤翔輔（助教），久利美和（講師）
TEL&FAX 022-752-2099
ssato@irides.tohoku.ac.jp

IRIDeS 金曜フォーラム
東北大学災害科学国際研究所
平成26年度特定プロジェクト研究成果報告会

東北大学災害科学国際研究所では、自然災害科学に関する世界最先端の研究を推進するために、「特定プロジェクト研究」の募集を行い、研究を推進しています。本報告会では、昨年度に実施された成果を下記の要領で報告させていただきます。

1. 日時

2015 年 7 月 12 日（日） 9:00～17:00

2. 会場

東北大学青葉山新キャンパス 災害科学国際研究所棟（P.8 参照）

3. プログラム

8:30	開場
9:00ー 9:10	開会の挨拶（所長：今村文彦）
9:10ー11:50	口頭発表（進行：小野 裕一、午前の部 6 件）
11:50ー12:50	昼食（会場は、大学生協・コンビニエンスストアから離れた場所に ありますので、各自ご持参いただくことをおすすめします。）
12:50ー14:00	ポスターセッション・コアタイム（70 分）
14:00ー16:40	口頭発表（進行：村尾 修、午後の部 6 件）
16:40ー17:00	閉会の挨拶（副所長：奥村誠）

4. 報告形式

[拠点研究 A]：口頭発表

[拠点研究 B]・[連携研究]：ポスターセッション 12:50～14:00 コアタイム

※研究区分の説明

拠点研究：所内の教員が代表者となって推進する研究課題。A・Bは予算規模の区分。

連携研究：所内の教員が代表者となって、他研究機関と連携して推進する研究課題。

口頭発表プログラム

(発表 20 分+質疑応答 5 分、1 階多目的ホール)

【午前の部】

9:10-9:35 A-1

広域被害把握・調査・解析に基づく被災地状況マッピングチームの創成

災害リスク研究部門 越村 俊一

9:35-10:00 A-2

日本・東南アジアの豪雨・台風被害の減災に向けた実践防災学的アプローチ

災害リスク研究部門 呉 修一

10:00-10:25 A-3

災害を生きる力とは？—8 因子の認知脳科学的分析

人間・社会対応研究部門 杉浦 元亮

10:25-10:35

(休憩 10 分)

10:35-11:00 A-4

ゲームを用いた災害教育の開発とその国際応用-どこでも・だれでも・たのしくできる実践的防災学の展開-

人間・社会対応研究部門 野内 類

11:00-11:25 A-11

石巻市(市街地部)の再・創生のための研究及び実践活動

情報管理・社会連携部門 小野田 泰明

11:25-11:50 A-5

ニュージーランド・ヒクラング沈み込み帯のプレート間相対運動の収支

災害理学研究部門 日野 亮太

11:50-12:50

(昼食 60 分)

12:50-14:00

(ポスターコアタイム 70 分)

【午後の部】

14:00-14:25 A-6

東北地方太平洋沿岸域における段丘・埋没地形の分布高度・編年に基づく長期地殻変動の復元と巨大海溝型地震にともなう歪みの蓄積・解放過程の解明

災害理学研究部門 丹羽 雄一

14:25-14:50 A-7

災害に強い保健・医療供給体制に関する連携研究

災害医学研究部門 江川 新一

14:50-15:15 A-8

エビデンスに基づいた災害精神医学の確立

災害医学研究部門 富田 博秋

15:15-15:25

(休憩 10 分)

15:25-15:50 A-12

研究所の実践的防災学の知見を国際防災政策に反映させるための研究

情報管理・社会連携部門 小野 裕一

15:50-16:15 A-9

被災地の女性が健康を維持するために：子宮がん検診受診率回復への方策と、災害後起こり得る女性疾患の検証

災害医学研究部門 伊藤 潔

16:15-16:40 A-10

「みちのく震録伝」の震災アーカイブ利活用基盤システムの構築と実践

情報管理・社会連携部門 柴山 明寛

ポスター

(コアタイム：12:50～14:00、2階演習室 A, B, C)

【拠点研究 B】

B-1 微動観測による青葉山免震新設建物群の地盤一構造物振動特性評価

災害リスク研究部門 大野 晋

B-2 超高層ビルの層間せん断波速度の抽出及びヘルスマニタリングへの適用

災害リスク研究部門 王 欣

B-3 1677 年延宝三陸・房総沖地震の再評価と 1611 年慶長奥州地震との関連性

災害リスク研究部門 今井 健太郎

B-4 児童・生徒のための効果的な減災教育ツール開発とその効果の検証

災害リスク研究部門 保田 真理

B-5 2011 年津波による大規模洗掘機構の解明

災害リスク研究部門 真野 明

B-6 最先端技術の統合による津波前後の土砂輸送および海浜回復過程の解明

災害リスク研究部門 有働 恵子

B-7 東日本沿岸水域における化学的環境の時空間変化の解析：震災および人為的環境改変の影響を理解し今後の環境管理方策を探る

災害リスク研究部門 坂巻 隆史

B-8 地中レーダを用いた遺跡調査の効率化による復興支援

災害リスク研究部門 佐藤 源之

B-9 Damage and human loss estimation using integrated modeling of tsunami inundation, fragility curves and agent-based evacuation to support tsunami mitigation and reconstruction activities.

災害リスク研究部門 マス エリック

B-10 低環境負荷ジオポリマー硬化体の開発と γ 線遮蔽材への適用

災害リスク研究部門 鈴木 裕介

B-11 外房地域における古津波履歴と規模の推定

災害リスク研究部門 後藤 和久

B-12 津波堆積物に基づく三陸海岸南部における巨大津波の解明

災害リスク研究部門 菅原 大助

- B-13 波浪の良さと悪い影響：波力発電と台風の被害
災害リスク研究部門 ブリッカー ジェレミー
- B-14 台風による海岸付近波浪現象
災害リスク研究部門 ローバー フォルカ
- B-15 交通の途絶が災害化するメカニズムに関する調査研究
人間・社会対応研究部門 奥村 誠
- B-16 交通シミュレーションに基づいた自治体の自動車避難計画の評価
人間・社会対応研究部門 金 進英、(奥村 誠)
- B-17 歴史資料の活用を通じた被災地域の歴史文化的記憶の継承に関する研究
人間・社会対応研究部門 佐藤 大介
- B-18 被災歴史資料の下張り文書に対する保全技術の研究
人間・社会対応研究部門 蝦名 裕一
- B-19 地域歴史資料の防災・減災体制の構築に向けた広域的連携研究
人間・社会対応研究部門 天野 真志
- B-20 大学の業務継続計画（BCP）の策定・運用手法に関する研究
人間・社会対応研究部門 丸谷 浩明
- B-21 東日本大震災に照らした我が国災害対策法制の改正に対する検証（災害応急対策）
人間・社会対応研究部門 島田 明夫
- B-22 列島における津波碑の民俗学的研究
人間・社会対応研究部門 川島 秀一
- B-23 リスク配慮型地域再建政策と生活再建プロセスに関する研究
人間・社会対応研究部門 井内 加奈子
- B-24 小地域データを用いた大規模災害被災想定地域の地域特性の推計
地域・都市再生研究部門 石坂 公一
- B-25 復興まちづくりと平時のまちづくりの相互関係に関する研究
地域・都市再生研究部門 姥浦 道生
- B-26 震災復興・防災計画に向けた人口・土地利用に関する細密データベースの構築と活用
地域・都市再生研究部門 花岡 和聖
- B-27 遡上津波と構造物の連成解析とその重層的見える化に関する研究
地域・都市再生研究部門 寺田 賢二郎
- B-28 高精度津波シミュレーションに基づく確率論的津波ハザード評価
地域・都市再生研究部門 森口 周二
- B-29 地震エネルギーを効率よく吸収する材料の最適微視的構造の開発
地域・都市再生研究部門 加藤 準治
- B-30 小型飛行体による打音検査法に関する研究
地域・都市再生研究部門 田所 諭
- B-31 地物表面放射線源分布推定のための線量計の計測軌跡計画
地域・都市再生研究部門 竹内 栄二郎
- B-32 津波避難計画を考慮した住民主体のまちづくり支援
地域・都市再生研究部門 村尾 修
- B-33 気象データの気候地域モデルによるダウンスケーリングの手法の習得し、大災害による地域においてのリスク分析に適用する
地域・都市再生研究部門 イ ケリー

- B-34 海底間音響測距観測による日本海溝の海溝軸付近の挙動の検出
災害理学研究部門 木戸 元之
- B-35 東北地方太平洋沖地震以前のプレート間カップリングの再評価
災害理学研究部門 飯沼 卓史、(木戸 元之)
- B-36 東北日本沈み込み帯プレート境界における温度及び間隙水圧の3次元分布の推定
災害理学研究部門 和田 育子、(木戸 元之)
- B-37 東北地方太平洋沖地震に伴う巨大津波の発生要因に関する研究
災害理学研究部門 東 龍介
- B-38 大地震に伴う活断層・火山周辺の地震活動変化の詳細な検討とモデル化—東北地方太平洋沖地震および国内外の大地震を対象にした比較研究
災害理学研究部門 岡田 知己
- B-39 東北地方太平洋沖地震後の地震発生メカニズムの解明
災害理学研究部門 内田 直希
- B-40 火山体変形モニタリングに基づく噴火ポテンシャル評価手法の開発
災害理学研究部門 三浦 哲
- B-41 噴火予測精度向上の為に全磁力繰り返し観測効率化の試み
災害理学研究部門 市来 雅啓
- B-42 仙台平野南部の活断層と苦竹伏在断層との連続性について
災害理学研究部門 岡田 真介
- B-43 災害科学への陸面過程モデルの利用に関する研究
災害理学研究部門 山崎 剛
- B-44 数値モデルと衛星観測の比較による日本域の降水量の定量的評価
災害理学研究部門 岩渕 弘信
- B-45 国際宇宙天気研究における COE 活動
災害理学研究部門 小原 隆博
- B-46 広帯域太陽電波常時観測による太陽活動危険状態の研究
災害理学研究部門 三澤 浩昭
- B-47 落雷電流波形の導出を目的とした低周波電磁界伝搬特性の研究
災害理学研究部門 土屋 史紀
- B-48 活断層端部の幾何形状と微小地震活動による地震ポテンシャル評価
災害理学研究部門 遠田 晋次
- B-49 東北地方太平洋岸における過去の巨大地震時の地殻変動検出の試み
災害理学研究部門 石村 大輔
- B-50 日本の医療機関における受援計画に関する調査
災害医学研究部門 佐々木 宏之
- B-51 災害関連発熱疾患の早期発見のためのバイオ・マーカー研究
災害医学研究部門 浩日勒
- B-52 災害医療時のX線撮影のための高電圧装置に関する基礎的検討
災害医学研究部門 千田 浩一
- B-53 低線量・低線量率放射線被ばくによる脳梗塞・心筋梗塞発症の原因解明のための基礎的研究
災害医学研究部門 細井 義夫
- B-54 血液中フリーラジカル定量による低線量被曝スクリーニング法の開発
災害医学研究部門 稲葉 洋平

- B-55 免疫機能の活性化による災害ストレス関連精神疾患発症機構の研究
災害医学研究部門 俞 志前
- B-56 災害ストレスによる精神神経疾患発症機序における内分泌機能解析
災害医学研究部門 笠原 好之
- B-57 災害ストレスによる婦人科疾患発症予測マーカーの確立
災害医学研究部門 三木 康宏
- B-58 被災地における国際標準化された災害時分娩取扱い教育プログラムの展開
災害医学研究部門 斎藤 昌利
- B-59 仮設住宅に住む小児アトピー性皮膚炎増加の原因解明
災害医学研究部門 栗山 進一
- B-60 モバイル端末からの患者画像情報転送システムの開発
災害医学研究部門 中山 雅晴、(佐々木燈子)
- B-61 「地域包括ケアシステム」による災害対応地域コミュニティの構築
災害医学研究部門 小坂 健
- B-62 災害の記憶・記録に関する拠点間の連携を通じた災害アーカイブ学の探求
情報管理・社会連携部門 佐藤 翔輔
- B-63 復興教育モデルの高度化と地域版復興情報共有プラットフォームの構築
情報管理・社会連携部門 佐藤 健
- B-64 L1 津波防御とまちづくりの調整に関する実践的調査
情報管理・社会連携部門 平野 勝也
- B-65 災害関連情報の視覚化表現によるコミュニケーションデザインの研究
情報管理・社会連携部門 本江 正茂
- B-66 地域の記録・継承の研究及び実践活動
情報管理・社会連携部門 小林 徹平
- B-67 地域社会における生業活動の変遷と災害からの復興
情報管理・社会連携部門 池田 菜穂
- B-68 先進的な統計手法を用いた 2011 年東北津波の被害関数構築とその応用アプリケーションの作成
地震津波リスク評価寄附研究部門 サッパシー アナワット
- B-69 地域特性と避難課題に対応した津波避難プログラムの構築と実践
地震津波リスク評価寄附研究部門 安倍 祥
- B-70 不確実性を考慮した確率論的津波リスク評価に関する研究
地震津波リスク評価寄附研究部門 福谷 陽、(林 晃大)
- B-71 モンゴル国におけるリアルタイム地震防災システム構築の技術支援
災害リスク研究部門 源栄 正人
- B-72 低頻度極大地震動と長周期長継続時間地震動に対する都市・建築の高耐震化
災害リスク研究部門 五十子 幸樹
- B-73 風評被害を克服する食料生産・供給体系の構築に関する調査研究
人間・社会対応研究部門 増田 聡
- B-74 情報伝播と主観的幸福度に基づく復興戦略分析
人間・社会対応研究部門 馬奈木 俊介

B-75 Post Disaster Housing Relocation and Land Use Planning: An International Comparison of Tohoku after the Great East Japan Earthquake and the U.S.A. after Hurricane Sandy

人間・社会対応研究部門 マリ エリザベス

B-76 巨大地震に伴う火山活動変化の検討と活動モニタリング

災害理学研究部門 山本 希

B-77 被災地の災害感染症対策の経験とその共有の試み

災害医学研究部門 服部 俊夫

B-78 各種腎疾患および HIV 患者における潜在性結核感染症 (LTBI) のスクリーニングと galectin-9 等のバイオマーカー・サイトカインの発現様式の検討

災害医学研究部門 芦野 有悟

B-79 幼小児の脱落乳歯および成人の抜去歯を用いた内部・外部被曝歴の包括的評価

災害医学研究部門 鈴木 敏彦

B-80 大震災被災地における持続発展可能なセーフ・スクールモデルの構築に向けて～ インドネシア, バンダ・アチェ市の教育復興と学校災害安全に向けた 10 年の取組みの検証～

情報管理・社会連携部門 桜井 愛子

B-81 企業の防災における有効的な参加・貢献に関する研究: 大学や NGO との有効的な協力・連携モデルに関するアジアの事例を中心に

情報管理・社会連携部門 泉 貴子

B-82 災害余波における「メモリアル」を巡るポリティックス: 記憶、追悼と死

情報管理・社会連携部門 ポレー セバスチャン

【連携研究】

連-1 津波堆積物順解析・逆解析の連携による先進的津波規模評価手法の構築

災害リスク研究部門 菅原 大助

連-2 岩手県南部沿岸地域における被災歴史資料の修復と地域情報の研究

人間・社会対応研究部門 蝦名 裕一

連-3 ハワイ大との学際的連携研究推進のためのネットワーク構築

災害医学研究部門 浩日勒

連-4 東日本大震災の被災地における「被災者目安箱システム」の開発

情報管理・社会連携部門 佐藤 翔輔

連-5 グローバル自然災害研究に関する連携強化プロジェクトーロンドン大学との連携(継続)

地震津波リスク評価寄附研究部門 サッパシー アナワット

会場案内

東北大学青葉山新キャンパス 災害科学国際研究所棟

〒980-0845 仙台市青葉区荒巻字青葉 468-1

※ 大学構内専用駐車場はスペースが限られておりますので、できるだけ乗り合わせていただくか、もしくは公共交通機関等をご利用頂きますよう宜しくお願い申し上げます。

TEL : 022-752-2011 FAX : 022-752-2013

Eメール : forum@irides.tohoku.ac.jp

【市営バス】

仙台駅西口バスプール9番のりば

宮教大行き・青葉台行き (710,713,715 系統)

「情報科学研究科西」下車

仙台駅西口バスプール9番のりば

青葉通・理・工学部先まわり 仙台城址南經由動物公園循環 (719,750,757 系統)

「情報科学研究科前」下車

※ 初めてお越しの方は710,713,715 系統をお薦めします

【タクシー】

仙台駅からの所要時間：約 20 分

料金：約 1,600 円

※大まかな目安です。道路の混雑の状況などによって異なります。

青葉山新キャンパスへのアクセス地図

